

○金融庁告示第 号
農林水産省

新型コロナウイルス感染症等の影響による社会経済情勢の変化に対応して金融の機能の強化及び安定の確保を図るための銀行法等の一部を改正する法律（令和三年法律第四十六号）の施行に伴い、農林中央金庫がその経営の健全性を判断するための基準の補完的指標として定めるレバレッジに係る健全性を判断するための基準（平成三十一年金融庁告示第四号）の一部を次のように改正し、令和三年十一月二十二日から適用する。

令和三年十一月 日

金融庁長官 中島 淳一

農林水産大臣 金子原二郎

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改める。

改正後	<p>(連結の範囲)</p> <p>第三条 連結レバレッジ比率は、連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則（昭和五十一年大蔵省令第二十八号。以下この項及び第五条第二項において「連結財務諸表規則」という。）の規定により作成した連結財務諸表に基づき算出するものとする。ただし、農林中央金庫が法第七十二条第一項第一号から第八号まで、第十三号又は第十四号に掲げる会社を子会社としている場合における当該子会社については、連結財務諸表規則第五条第二項の規定は、適用しないものとする。</p> <p>2 「略」</p>
改正前	<p>(連結の範囲)</p> <p>第三条 連結レバレッジ比率は、連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則（昭和五十一年大蔵省令第二十八号。以下この項及び第五条第二項において「連結財務諸表規則」という。）の規定により作成した連結財務諸表に基づき算出するものとする。ただし、農林中央金庫が法第七十二条第一項第一号から第八号まで、第十号又は第十一号に掲げる会社を子会社としている場合における当該子会社については、連結財務諸表規則第五条第二項の規定は、適用しないものとする。</p> <p>2 「同上」</p>

備考 表中の「」の記載は注記である。